

発行日 2月1日
住所 上田市住吉 2863-10
電話 23-3482

ゆうゆう通信

上田市議会議員 石合ゆうたの市政 報告です。

ご挨拶

コロナ禍を乗り越え、新年が希望を取り戻す年であることを願います。

コロナ禍では雇い止めや収入減など社会で弱い立場にある人にしわ寄せがきてしまうことが顕著になりました。

弱肉強食の社会ではなく、支えあいと共生を軸にする社会が求められていると考えます。

働く人や弱い立場の人を守るために政治をきちんと機能させていくことが今まさに求められています。

また、資源循環型施設建設をはじめ上田市の重要課題や「改築推進委員会」が立ち上がり具体的に動き出した第五中学校改築や交通安全対策など地域の重要課題に本年も全力であたっていくことをお約束し、新年のご挨拶といたします。

【意見書を多数採択】

自治体議会は、住民福祉の向上や財源確保など市民生活に関連する意見書を国や関係機関などに意見書を送ることができません。しかし、上田市議会ではこれまで意見書の送付が限定的でした。9月議会では議会提案の意見書が採択されました。

- ①「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書」
 - ②「地方財政の充実・強化を求める意見書」
 - ③「義務教育の一層の充実を求める意見書」
 - ④「オンライン本会議の実現を求める意見書」
 - ⑤「選択的夫婦別姓制度について議論を求める意見書」を可決しました。
- 課題が多く、ニーズも多様化している今、住民生活に身近な地方議会から意見書を示していくことはとても重要と考えます。なお、可決された意見書のうち②、③については私において関係団体と意見調整をし、所属会派議員から提案しました。

【9月定例会報告】

上田市議会9月定例会が8月31日から9月30日までの31日間で開会し、条例案、決算、意見書など計35件を可決、認定して閉会しました。

9月は決算議会であり、上田市の財政が堅調か、課題はなにかチェックする重要な機会です。

監査委員からは自主財源の確保や経常的経費のさらなる削減が必要だと指摘を受けています。コロナ禍を踏まえ、厳しい財政見通しの中、事業の見直しや自主財源確保策の検討など取り組む課題は多いです。目的意識を持って取り組むこと、制度を必要とする方のための支援が切り捨てられないよう、バランスの取れた計画的な行政運営を市には求めます。

議長を除く全議員で構成する一般会計決算特別委員会では、決算を認定したうえで1項目について附帯意見をつけました。



昨年、上田市は日本遺産の認定を受けました。「レイラインがつなぐ太陽と大地の聖地～龍と生きるまち 信州上田・塩田平」です。写真は冬至迫る日の生島足島神社です。上田市の新たな魅力として期待大です。

【公共施設マネジメントの推進】

上田市公共施設マネジメント基本方針（※）に基づく取り組みを確実に推進すること。特に基本方針の実行計画として位置づける個別施設計画は、基本方針を推進する上で重要であることから、早急に策定すること。

※公共施設を取り巻く現状と課題をとらえる中で、施設の維持管理の考え方や方向性を定めたもの。

【一般質問】

9月議会是一般質問にあたり、上田市における新型コロナウイルス感染レベル5相当の感染状況（8月末時点）となったことから本会議での一般質問は行わず文書による質問に切り替えとなりました。

内容は上田市議会ホームページに資料として掲載されています。今後、ルールの明確化も必要と考えます。

【新型コロナウイルスの影響による生活困窮者や失業者の支援について】

（問） 失業者への就労対策として、市有施設で失業者を受入できるかを調査してはどうか。

（答） 地域雇用推進課「雇用・雇い止めが増えていると伺っており、失業者の増加が懸念される。県内全てのハローワークに求人確保対策本部が設置され、市も加わり、働く場の確保につなげる。状況によって市有施設での受入れも含め検討する」

（問） 失業者への就労支援の取組と外国籍市民や留学生への支援はどうか。

（答） 市が設置している「上田市就労サポートセンター」無料職業紹介など相談者一人ひとりに寄り添った伴走型の就労支援を行っている。また、本庁舎1階の多言語相談ワンストップセンターで、7カ国語に対応した多言語チラシの配布を行うなど、外国籍市民や留学生が必要な情報を取得できるよう対応している。

【広域連合議会報告】

慣例で上田市議会から毎回2名の代表者が一般質問を行うことになっています。今回、上田市議会からは宮下議員と石合が質問しました。

連合長は所信表明の中で、今年度中の環境影響評価着手を表明しました。清浄園機能移転の方向性も見え、重要な局面です。

（問） 建設候補地周辺地域の負担軽減のため、ごみの減量・再資源化を圏域全体で取り組むことの重要性は広域連合も認識しているが、各市町村でのごみ減量の取り組みと課題はどうか。

上田市長：雑がみ回収袋の全戸配布や生ごみ自己処理を促す処理機器の購入費補助の拡充、生ごみを自己処理して可燃ごみとして出さないと宣言する世帯の申請に対して「生ごみ出しません袋」を無料でお渡しするなど取り組んでいます。また、自己処理を基本としながら、自己処理が困難な地域に限定して分別収集を行うという方針



▶ 上田市議会を代表して「最重要課題資源循環型施設建設に向けた取り組み状況」を問う

を掲げた「生ごみリサイクル推進プラン」を8月に策定した。

東御市長…平成30年3月に生ごみリサイクル施設「エコクリーンとうみ」を本格稼働させた。また、生ごみ分別収集の実施のため、収集分別等の方法について検討を行い、市民に周知した。可燃ごみ減量は目標値を1年前倒しで達成できた。

青木村長…段ボールコンポストの配布、生ごみ処理機・処理槽への補助金交付、本年よりごみ減量化資材生産者補助金交付事業を開始、竹パウダーの普及促進など。

長和町…燃やせるごみ、燃やせないごみを8種類21品目に分類を実践している。生ごみ処理は長門牧場敷地内の「生ごみたい肥化処理施設」においてたい肥化処理を行い、住民に無料で配布している。好気性好熱菌発酵方式という方式を採用しており、場所もあるが臭いに対する苦情はない。

広域連合…事業系可燃ごみは2年続けて増加している。減量を呼

び掛けたい。家庭系可燃ごみは直近では横ばい状態。4割を占める生ごみの資源化を促していきたい。

(問) 最終処分場は資源循環型施設建設自治体以外で検討するとしているが、検討状況はどうか。

土屋連合長…現在焼却灰の埋め立てが可能な広域管内の最終処分場は上田市下室賀最終処分場と東御市一般廃棄物最終処分場の2施設でいずれも残余容量が少なくなっている。資源循環型施設建設後に出される焼却灰の受け入れは困難であり、新たな最終処分場の建設が必要。

これまで資源循環型施設建設に向けた取り組みを最優先としてきたが、今後環境影響評価の実施と並行して最終処分場建設にも力を入れたい。その建設には相当な時間が必要であり、関係市町村と連携しながら、予想される埋め立て量や最終処分場の必要容量や必要面積等諸条件の整理の検討を行いたい。

【12月定例会報告】

上田市議会12月定例会が11月19日から12月14日まで開会し、条例案や総合計画後期まちづくり計画、意見書などを可決して閉会しました。

このうち、私も一般質問等でたびたび求めてきている公共交通に対する支援では約1億3500万円を上田電鉄、しなの鉄道など公共交通機関への支援に充てることになりました。

コロナの影響が長期に及ぶ中では、継続的な支援が必要となります。国・県に責任ある対応を求めつつ、関係市町村との連携を密にしていかなくはなりません。

【一般質問】

脱炭素社会に向けた取り組み

(問) 公共施設の省資源化や省エネルギー化、電力の再生エネルギー化など地球温暖化対策の今後の取組方針はどうか。

(答) 生活環境部長 市地域新エネルギービジョンの施策を引き継ぎ、新たに市地球温暖化対策地域

推進計画の策定を予定している。温室効果ガス排出量の削減目標を定めるとともに再生可能エネルギーの普及促進や省エネルギー対策などの具体的な温暖化対策を推進していく。

(問) 上田市として気候非常事態宣言や2050年ゼロカーボン宣言を行う考えはどうか。

(答) 市長 地球温暖化対策推進の意識醸成を図るためにも、市が気候非常事態宣言や2050年ゼロカーボンを表明することは大変重要なこと。実現に向け前向きに検討したい。



種苗を考慮するアピール行動に参加

みんなの種を守ろう!

最新の活動報告は
こちらから➡

<https://twitter.com/JyosyoSdp>

<https://www.facebook.com/isiai.yuuta>

石合ゆうた公式ホームページ

http://www17.plala.or.jp/ishiai_yuta/



【意見書を提出】

災害からの復旧・復興及び国土強靱化に向けた社会資本整備の促進を求める意見書

【視察・研修報告】

① **新生会（会派）研修**…藤山浩氏（一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所所長、持続可能な地域社会の創り方〜住民・議員・行政による仕組みづくり〜） 11月10日、オンラインにて・・・20代女性を中心とした流出超過を取り戻せていない上田市の実情、目標設定と地域同士の学びあい、地元にて定住と循環の若づくりを進めることを指摘されました。

② **新生会（会派）研修**…北村政夫氏（青木村長、青木村の主要プロジェクト、北村氏の埼玉県職員時代に手掛けたプロジェクト、村政の心がけ） 11月11日、青木村役場・・・広域行政の重要性、住民に本当に伝わる広報広聴、村政を経営する視点と弱い立場の人に目を向ける視点など勉強になりました。

道路

危険事故の根絶は大変重要なテーマです！！



山城サミット

コロナ禍で、動画配信を活用したサミット。山城保存活用団体の連携が進むことに期待！



上田地球を楽しむ会

コロナウイルスの話を中心にゼミナールで開催しました。正しく知って、正しく警戒し、適切な生活習慣を身につけましょう。



第10回上田市議会議会報告会

今年はオンライン主体で実施しました。



市立博物館で行われた「上田の水害」に行きました。戊の満水の被害と令和元年東日本台風で被害を受けた箇所似た傾向が見えるとの指摘。日頃の意識と備えこそ！

石合ゆうたプロフィール

平成元年生まれ◆神科小、五中出身◆長野俊英高等学校出身◆立正大学文学部史学◆生活困窮者支援・脱原発などの市民運動に関わる◆DIYケア施設で働きホームヘルパー2級取得◆民間企業（京都）に就職後、ふるさととの未来を思い退職

（議会の活動）

上田市議会総務文教委員◆広報広聴委員◆議会タブレット導入研究委員◆上田地域広域連合議会議員◆青木村及び上田市共有財産組合 議会議員◆議員クラブ会幹事長

（地域の活動）

◆非核・平和・憲法を護る上小の会副会長◆上田地球を楽しむ会事務局次長◆サンタ・プロジェクト・うえだ事務局長◆泉の会副会長◆上田市消防団員